

日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（青森大会）プログラム表

会場		5F 大会議室	4F 小会議室1	3F 小会議室4	4F 中会議室	会場	4F ロビー	1F・2F 大ホール
分科会		実践研究1・相談援助	実践研究2・生活構造	実践研究3・福祉経営	地域支援	分科会	ポスター発表	青森特別分科会
進行		笠 修彰	松永 千恵子	金井 直子	溝淵 智則	進行	吉田 祐一郎・太田 桂子	青森県社会福祉士会
	9:20~9:30	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	9:20~9:30	オリエンテーション	10:00~10:30 受付
1	9:30~10:00	<p>【実践研究(研究)】 介護予防・日常生活支援総合事業の実施するサービス利用の効果</p>	<p>【実践研究(研究)】 知的障害者の地域移行における意思決定支援モデルの実践的検証 ～相談支援従事者を対象としたフォーカス・グループ・インタビューによる検討～</p>	<p>【実践研究(報告)】 福祉事務所と医療機関の連携体制構築の取組について ～交流会の開催と「退院ロードマップ」の共同作成を通して～</p>	<p>【地域支援(研究)】 地域防災における社会福祉士の橋渡し役の可能性 ～フェーズフリー型地域防災に着目した地域防災会の実践研究～</p>	9:20~9:30	<p>&lt;1: 権利擁護(報告)&gt; 母子生活支援施設における「現地見学会」の取り組み ～措置入所を行う行政機関職員への働きかけに焦点を当てて～</p> <p>・発表者: 源 明(青森) ・共同研究者: 最上 和幸</p>	<p>「僕は文字が読めないアーティスト」 ～世界と繋がる 地域と繋がる 人と繋がるアートの力～</p> <p>アーティストGOMA×発達支援者 小玉有子氏 トークセッション</p>
		発表者: 石原 千鶴(三重)	発表者: 立石 真司(岩手)	発表者: 田名部 真衣(兵庫) 《共同研究者》 柴田 麻姫	発表者: 岡村 佳和(東京)		<p>&lt;2: 相談援助(研究)&gt; 外来医療ソーシャルワークの必要性と提供体制の構造 ～X県における実践の工夫と課題～</p> <p>・発表者: 佐藤 誠人(青森) ・共同研究者: 飯村 健治/尾崎 麻理/大平 香織 上谷 由香里/高坂 華織/ / 田中 裕之/中澤 淳也 袴田 光樹/橋本 和明/張間 純子/堀江 聖子</p>	
休憩 5分								
2	10:05~10:35	<p>【実践研究(研究)】 60歳以降の社会福祉士のキャリア継続と働き方の多様化 独立型・再就職型・継続雇用型にみる実践の特徴</p>	<p>【実践研究(研究)】 ソーシャルワーク・スーパービジョンにおける理論・モデルの活用 ～スーパーバイザー研修を通して～</p>	<p>【実践研究(報告)】 A県DWA Tにおける立上げから平時の取り組みまでの10年間 ～地域組織化展開過程を応用したチームビルディングを中心に～</p>	<p>【地域支援(報告)】 急性期病院における産後ケア事業の展開と医療ソーシャルワーカーの役割 ～地域資源を育てる実践プロセスに着目して～</p>	ポスター 掲示時間 第1日目 11:30~ 第2日目 12:30	<p>&lt;3: 地域支援(報告)&gt; 生活支援コーディネーターは、高齢者サロンをどう支援すればいいか？ ～「よか余暇ゲーム」を用いた個人の興味・関心の可視化と高齢者サロン支援への応用～</p> <p>・発表者: 福田 耕平(長崎) ・共同研究者: 熊谷 俊和</p>	<p>【趣旨】 障がいを持ちながら、青森県を拠点に国内外で活動するアーティストGOMA氏と、その母親で大学で心理学を教える傍ら、発達支援・就労支援等に取り組む小玉有子氏の対談を行う。 アーティスト・発達障がい当事者・養育者・専門職という複数の立場が交差する対談を通して、個人の経験が地域の中で活かされ、支えあいにつながっていく過程を共有し、地域共生社会の実現に向けて、社会福祉士が、個人・家族・地域にどのように関わるかを共に考える。</p>
		発表者: 高木 知里(山形)	発表者: 岡田 まり(京都) 《共同研究者》 片岡 靖子 潮谷 恵美 野村 豊子	発表者: 澤村 さおり(大阪)	発表者: 服部 百恵(徳島) 《共同研究者》 郡 草人 井村 洋平 高橋 優花		<p>&lt;4: 地域支援(報告)&gt; オリジナル絵本作りによる社会福祉士の認知度向上の実践 ～クラウドファンディング(CF)を活用したソーシャルアクションの展開～</p> <p>・発表者: 山岸 幸(三重) ・共同研究者: 岡島 清加/加藤 利枝 櫻井 啓子/塩井 崇 廣瀬 磨由子/福田 雅文</p>	
休憩 10分								
3	10:45~11:15	<p>【実践研究(報告)】 社会福祉士による「通訳的関与」の検討 ～子ども家庭支援でかかわる17世帯の語り変容プロセスから～</p>	<p>【実践研究(報告)】 障害者等の社会参加促進に向けた居場所とプログラムの再構築 ～利用者の主体性を尊重した取組から～</p>	<p>【実践研究(報告)】 動物介在活動を活用した相談援助の展開 ～ひきこもり状態にあるA氏の事例からみる効果と課題～</p>	<p>【地域支援(報告)】 “取り残されそうな人”と共に地域を支える実践 ～「球眼使用困難症候群の方との出会いを通じたソーシャルワーク」</p>	発表 指定時間 10:30~ 12:30 (※上記の時間 以外には発表者が いない場合があります。)	<p>&lt;5: 実践研究(研究)&gt; 独立型社会福祉士による多層的コーディネートモデル ～「独立性」を基盤としたコーディネート機能の展開プロセス～</p> <p>・発表者: 小川 幸裕(青森)</p>	<p>【トークセッション】</p> <p>スピーカー GOMA氏 (アーティスト)</p> <p>小玉有子氏 (弘前医療福祉大学保健学部教授)</p>
		発表者: 板垣 明莉(宮城)	発表者: 野村 聡(千葉) 《共同研究者》 石 久美子 植原 聖史	発表者: 松原 勇作(鳥取)	発表者: 田代 秀之(神奈川)		<p>&lt;6: 実践研究(報告)&gt; 県社会福祉士会による会員の実践研究支援 ～兵庫県社会福祉士会調査研究委員会主催 実践発表会の取り組みから～</p> <p>・発表者: 竹森 美穂(兵庫) ・共同研究者: 森保 純子/清水 敦子 永田 三輪/小椋 智子</p>	
休憩 5分								
4	11:20~11:50	<p>【相談援助(報告)】 高次脳機能障害者への自立訓練(機能訓練)における社会福祉士の役割 事例から見える支援内容</p>	<p>【生活構造(報告)】 バイオ・サイコ・ソーシャルモデルを用いたアセスメントからの考察 ～独居でアルコール依存と知的障がいのある被保佐人への支援事例から～</p>	<p>【福祉経営(報告)】 “当たり前”に寄り添う支援者支援 ～B銀行特例子会社の取り組みから～</p>	<p>【地域支援(報告)】 A地区社会連携会議における住民参加型実践 ～社会福祉士がつなぐ「つながり会議」の展開～</p>	発表 指定時間 10:30~ 12:30 (※上記の時間 以外には発表者が いない場合があります。)	<p>&lt;7: 実践研究(報告)&gt; 地域での「学び合いの場」づくりと定着に果たす「社会福祉士」の役割に焦点を当てて</p> <p>・発表者: 滝口 康子(茨城) ・共同研究者: 多田 公樹</p>	聞き手 佐々木啓太氏 (社会福祉法人ほほえみ 就労支援課 課長)
		発表者: 石倉 雅子(東京)	発表者: 川上 沙織(島根) 《共同研究者》 澤田 麻理	発表者: 北澤 和美(神奈川)	発表者: 石井 純子(群馬) 《共同研究者》 高林 亜希子 田口 江莉奈 長坂 伊左男		<p>&lt;8: 実践研究(報告)&gt; グループスーパービジョン実践報告 ～グループダイナミクスから得られる気づきの相乗効果～</p> <p>・発表者: 上田 和寿(茨城) ・共同研究者: 加藤 史子/酒寄 之枝 野村 幸代/山里 和矢/野村 豊子</p>	
休憩 5分								
								10:30 閉会
								12:00 閉会